



# さるっこの森のサルたちのヒ・ミ・ツ



さるっこの森で飼育しているおサルさんにはある共通点がある...  
それはみんな「新世界サル」と呼ばれるグループに分類されているよ。

現在世界にいるおサルさんたちは大きく  
**原猿類** と **真猿類** の2つに分けられるんだ



サル舎をみてね

はさらに  
類人猿、旧世界サル、新世界サルに分類されるよ



新世界サルって？  
新世界サルは、旧世界サルに比べて、  
尻尾が短く、尾を地面に擦ることで体を支える。  
尻尾が長い旧世界サルは、尾を木の枝に巻きつけて体を支える。

ここに注目!!

ノドジロオマキザルの  
まるで手足のように  
動く自由な尻尾!!



尻尾だけで枝をつかんで  
全体重を支えることができ  
4本の手足が自由に使えるよ



# すごいよ! ドジロオマキザル

Wao! /

ちのう たか  
知能が高い!!

ココ



オマキザルは /

尾が命!!

なんぱい  
南米のチンパンジと呼ばれ  
ているほど知能が高いドジロ。  
てんてき  
天敵のハビを木の棒などの道  
具を使い追い払う姿も正確  
にん  
認識されています。  
こうして道具を使用する  
サルは、類人猿以外  
では、オマキザル位だと  
言われています。

なが ちよばな びは 普通は  
バランスをとったり、体を支える  
役割をもっています。尾は体長  
より長く、先端はカギツメのよう  
になっています。  
また、「第3の手」と呼ばれる  
ほど器用で、大木山の  
ドジロたちは、フェンスから尾  
を出し、雑草を引っこめたり  
しています。スゲーッ!!

雑草! 引っこめずにはいられないッ!!



# さるっこのばぶ話

ボリビアリスザルとコモンマーモセットの子育てのアレコレ(´▽`)

バザン



バザー

## ボリビアリスザル

リスザルは年に1回、  
基本は1頭を出産します。



赤ちゃんの面倒は  
お母さんがみます。

おっぱいをあげて、おしりをなめて  
うちとおしこのお世話もします。  
お母さんって 大変だね。



おっぱいの時は  
あかちゃんがおなかの底に  
もぐりこも  
スタイル。



赤ちゃんが大きくなって、お母さんから  
離れて動きまわるようになって、兄弟たち  
とたくさんあそびます。



※イラストは  
イメージです。

ちなみにお父さんは  
なんもしません。笑  
大きな心で見守っているよ。  
(たぶん)



## コモンマーモセット

なんと、1年に2回も出産します。  
(5ヵ月に1回)  
しかも、双子で生まれることが多く、  
お母さんの体にかかるとても大きいんです。



そこで! お父さんと  
その他家族の出番!!



生後1週間は、お母さんとお父さん  
がマンツマンで子育てをします。  
お母さんは授乳をして、その他の  
お世話をお父  
さんがしている間、  
ゆっくり休むことが  
できます。



あかちゃんが無事に育てきたら、兄弟たちも  
子育てに参加します。抱っこをしたり、  
あそび相手にも  
なってくれます。



兄弟たちがお世話を頑張っ  
ている間に、お母さんのお  
なかには次の命が!  
こうして、5ヵ月後にはまた  
赤ちゃんが生まれてきます。





